

# Jera

エネルギーを新しい時代へ

## 2023年度第2四半期連結決算について

- (注1) 資料内の「年度」表記は4月から翌年3月までの期間を指します。  
「2Q」表記は4月から9月までの期間を指します。
- (注2) 当社は、2022年度（2023年3月期）期末の連結決算より国際財務報告基準（IFRS）を任意適用しました。そのため、次頁以降はIFRSに基づき作成しております。

2023年10月27日  
株式会社JERA

## 連結損益計算書

(億円)

	2023/2Q(A)	2022/2Q(B)	増減(A-B)	増減率(%)
売上収益 (売上高)	20,973	19,434	1,538	7.9
営業損益	4,277	▲1,825	6,103	-
親会社の所有者に帰属する 四半期損益	2,912	▲2,141	5,053	-
(参考) 期ずれ除き四半期利益	753	1,501	▲748	▲49.8

## 連結財政状態計算書

(億円)

	2023/2Q(A)	2022年度末(B)	増減(A-B)	増減率(%)
資産	93,936	91,723	2,212	2.4
負債	67,680	71,326	▲3,645	▲5.1
資本	26,255	20,397	5,858	28.7

## 【売上収益】

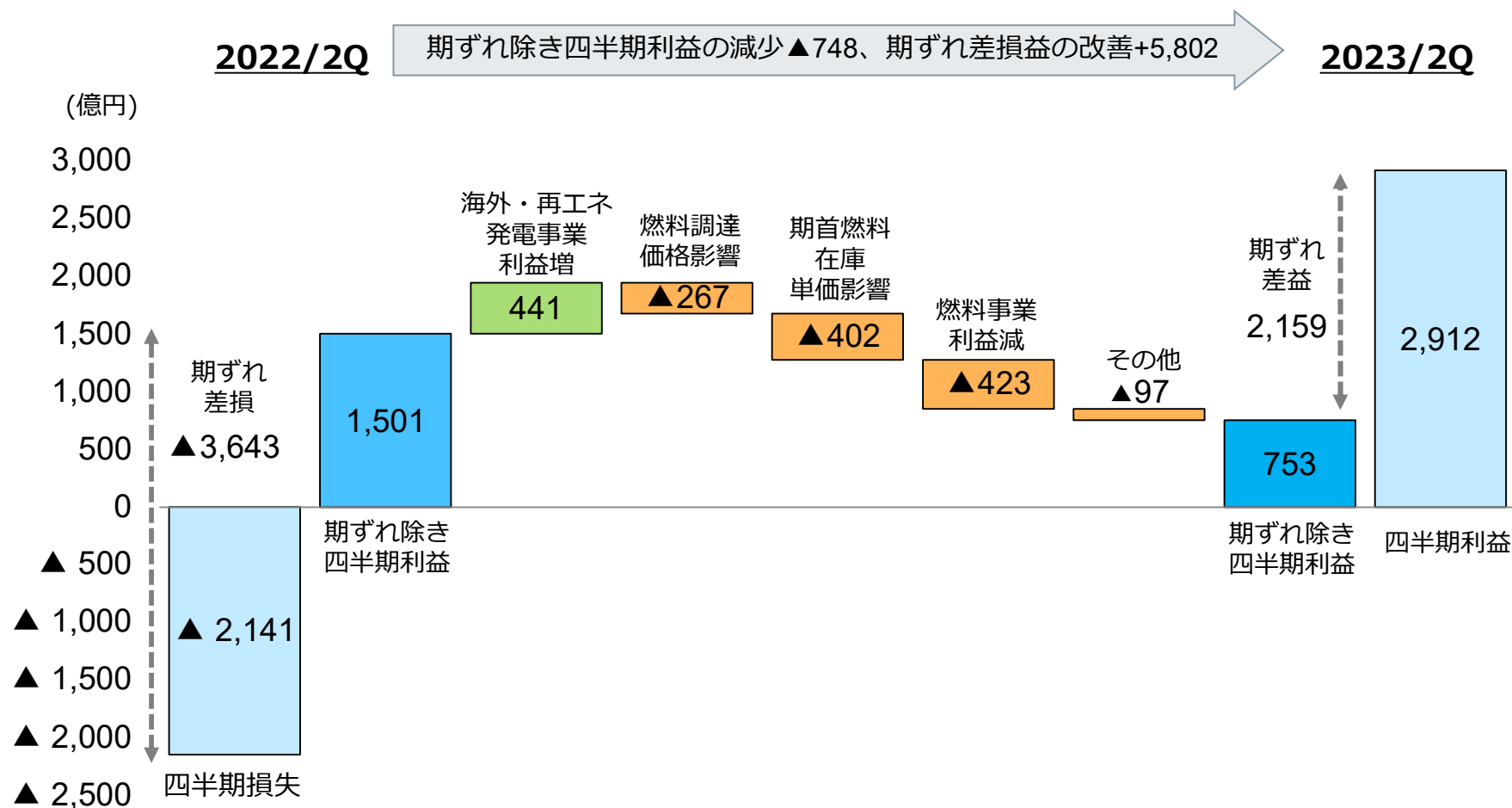
- 前期比1,538億円増（7.9%増）の20,973億円

## 【四半期損益】

- 四半期損益は、前年度▲2,141億円から5,053億円増益の2,912億円
  - ・ 期ずれ影響が差損から差益に転換（+5,802億円、▲3,643億円→2,159億円）
  - ・ 期ずれ除き四半期利益は減益（▲748億円、1,501億円→753億円）
- 期ずれ除き四半期利益は、海外・再エネ発電事業における利益増があったものの、燃料調達価格や期首燃料在庫単価の影響、また燃料事業利益減等により減益

# 連結四半期損益の変動要因

- 期ずれ除き四半期利益は、海外・再エネ発電事業における利益増があったものの、燃料調達価格や期首燃料在庫単価の影響、また燃料事業利益減等により減益



※金額は税引後

# 連結損益計算書

4

(億円)

	2023/2Q(A)	2022/2Q(B)	増減(A-B)	主な増減要因
売上収益 (売上高)	20,973	19,434	1,538	・ JERAとJERAGM間の連結消去額 (売上収益減少要因) の縮小
営業費用	17,084	21,076	▲3,991	・ 燃料費の減少
その他営業損益	388	▲184	572	・ 為替差損の減少 +328 ・ 持分法による投資利益 +230
営業損益	4,277	▲1,825	6,103	
金融収益	376	54	322	・ 受取利息の増加 +223
金融費用	419	1,056	▲636	・ 為替差損の減少 ▲649
税引前損益	4,234	▲2,827	7,062	・ 期ずれ差損益 +8,058(▲5,060→2,998) ・ 期ずれ除き利益の減少 ▲996(2,232→1,236)
法人所得税費用	875	▲948	1,823	
非支配持分に帰属する 四半期利益	447	261	185	
親会社の所有者に帰属 する四半期損益	2,912	▲2,141	5,053	

	2023/2Q(A)	2022/2Q(B)	増減(A-B)
販売電力量 (億kWh)	1,154	1,278	▲124
原油価格(JCC) (\$/b)	83.5	111.9	▲28.4
為替レート (円/\$)	141.0	134.0	7.0

※2023/2Qの原油価格は速報値

# 連結財政状態計算書

6

(億円)

	2023/2Q(A)	2022年度末(B)	増減(A-B)	主な増減要因
現金及び現金同等物	16,540	13,609	2,931	• JERA単体等における増加
有形固定資産	27,200	23,878	3,322	• Parkwindの取得等による増加
持分法で会計処理されている投資	13,209	11,127	2,081	• GPIの取得等による増加
その他	36,985	43,108	▲6,122	• 売掛金の減少 ▲2,548 • デリバティブ債権の減少(JERAGM等) ▲3,052
資産合計	93,936	91,723	2,212	
有利子負債	34,654	35,108	▲453	• 借入金の減少 ▲410 • CPの減少 ▲790 • 社債の増加 +747
その他	33,026	36,218	▲3,192	• デリバティブ債務の減少(JERAGM等) ▲4,434
負債合計	67,680	71,326	▲3,645	
親会社の所有者に帰属する持分	26,043	20,228	5,814	• 四半期損益 +2,912 • 為替換算調整勘定 +1,727
非支配持分	212	168	43	
資本合計	26,255	20,397	5,858	

# 連結キャッシュ・フロー

7

(億円)

		2023/2Q(A)	2022/2Q(B)	増減(A-B)
営業キャッシュ・フロー		9,947	▲7,177	17,124
投資キャッシュ・フロー	有形固定資産の取得	▲1,238	▲1,880	642
	投資有価証券の取得	▲578	▲94	▲483
	その他	▲2,286	▲280	▲2,005
		▲4,103	▲2,255	▲1,847
フリー・キャッシュ・フロー		5,844	▲9,433	15,277
財務キャッシュ・フロー	有利子負債の増減額	▲2,944	9,082	▲12,027
	配当金の支払額 <sup>※1</sup>	0	▲831	831
	その他	▲963	▲487	▲475
		▲3,908	7,764	▲11,672
現金及び現金同等物の増減額（▲は減少）		2,931	▲1,359	4,290

※1非支配株主への配当金の支払額を除く



# セグメント情報

8

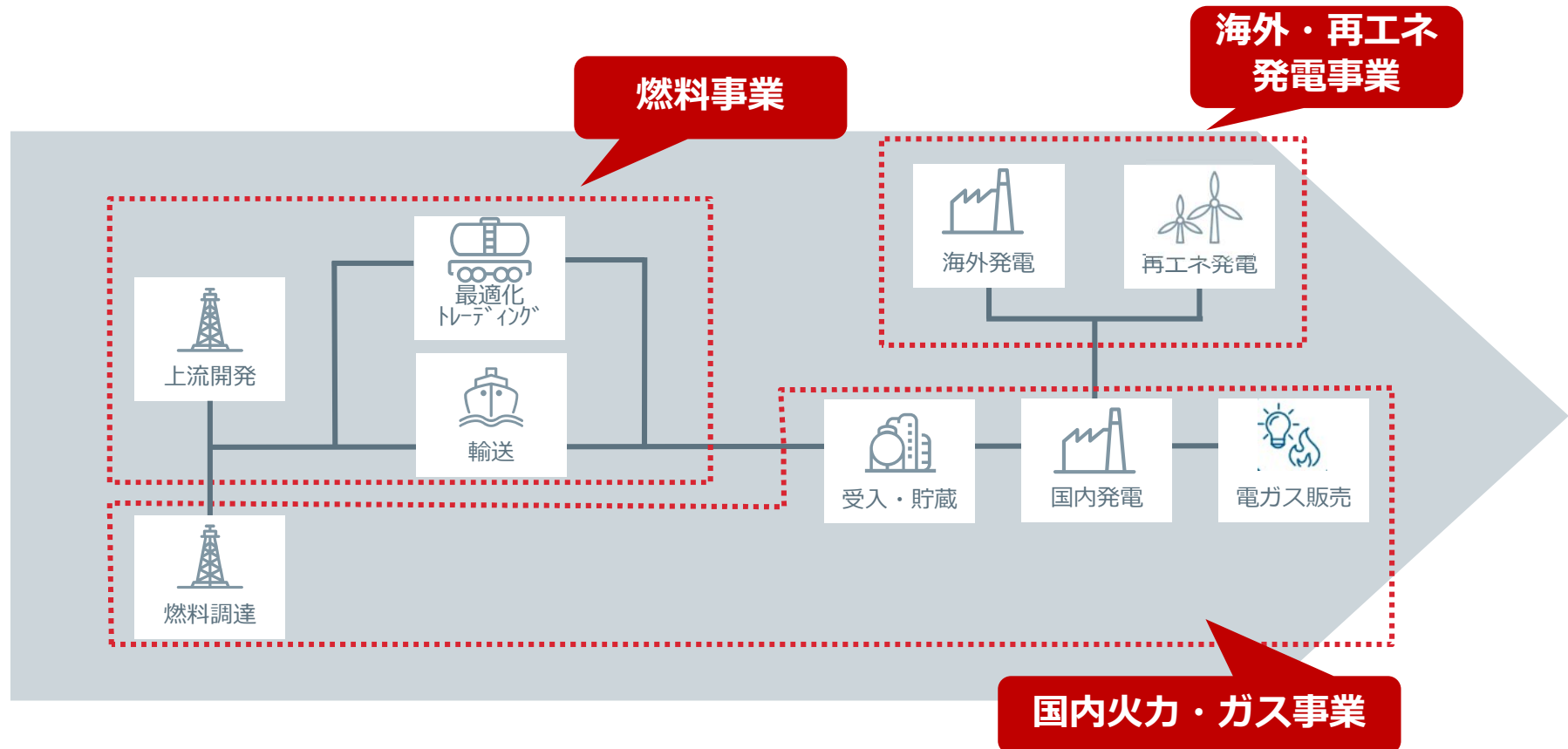
(億円)

	2023/2Q(A)		2022/2Q (B)		増減(A-B)		主な四半期損益 (期ずれ除き) 増減要因
	売上収益	四半期損益 (期ずれ除き)	売上収益	四半期損益 (期ずれ除き)	売上収益	四半期損益 (期ずれ除き)	
燃料事業	2,424	753	3,865	1,176	▲1,440	▲423	・JERAGM利益減等
海外・ 再エネ 発電事業	186	334	22	▲106	164	441	・フォルモサ2減損戻入益 +196 ・海外IPP事業の増益 +245
国内火力・ ガス事業	22,755	1,861 (▲297)	26,160	▲1,639 (2,003)	▲3,405	3,500 (▲2,301)	・燃料調達価格影響 ▲267 ・期首燃料在庫単価影響 ▲402 ・LNG売却関連損益 ▲620
調整額※	▲4,393	▲36	▲10,613	▲1,572	6,220	1,536	・燃料未履行契約消去 +925
連結財務 諸表計上額	20,973	2,912 (753)	19,434	▲2,141 (1,501)	1,538	5,053 (▲748)	

※調整額には、本社費用やセグメント間取引消去等の連結修正額を含む

# (参考) バリューチェーンとセグメント区分

- ▶ 燃料上流（ガス田の開発）から、燃料輸送、燃料貯蔵（燃料基地の運営）、発電、卸売まで、燃料・火力のサプライチェーン全体を保有
- ▶ セグメントとして、燃料上流事業等への投資、燃料輸送・燃料トレーディング事業を行う「燃料事業」、海外の発電事業や国内外の再生可能エネルギー発電事業等への投資を行う「海外・再エネ発電事業」、国内における電力・ガスの販売などを行う「国内火力・ガス事業」に区分



# 2023年度業績見通し

10

- 期ずれ除き当期利益は1,500億円程度、期ずれ差益は足元の燃料価格動向を踏まえ2,000億円、当期利益は合計3,500億円程度を見込んでいる。
- 前提としている燃料市況の変動等により、利益が大きく変動する可能性がある。
- なお、前回予想（2023/1Q決算公表時）からの変更はない。

(億円)

	今回予想(A)	前回 (2023/1Q) 予想(B)	増減(A-B)	増減率(%)
当期利益	3,500	3,500	-	-
(内訳)期ずれ差損益	2,000	2,000	-	-
期ずれ除き当期利益	1,500	1,500	-	-

【参考：前年度実績との比較】

(億円)

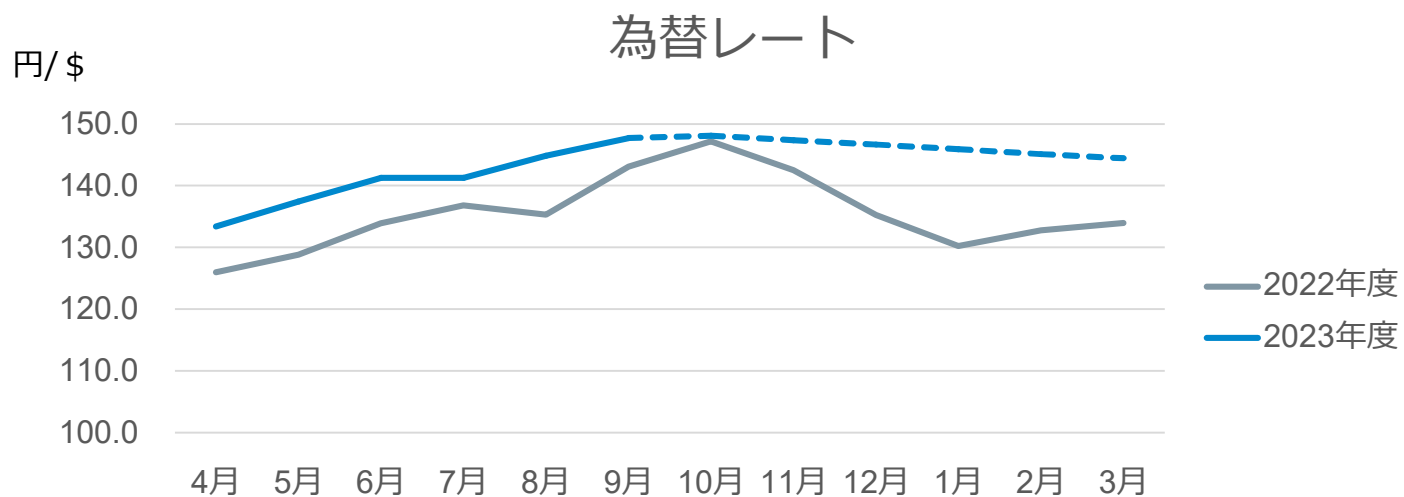
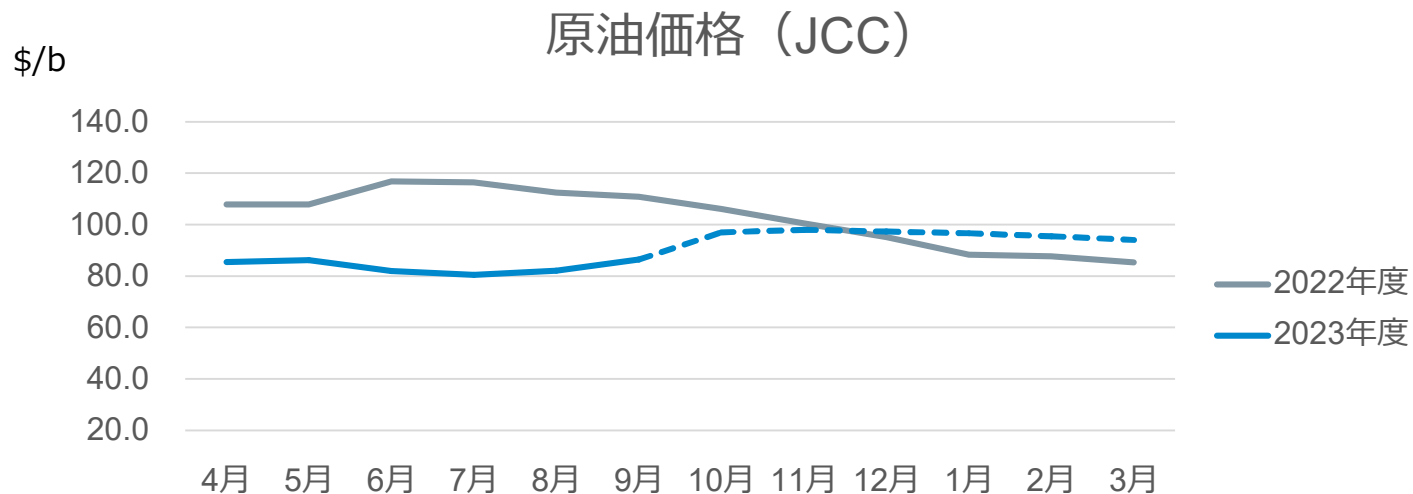
	今回予想(A)	前年度実績(B)	増減(A-B)	増減率(%)
当期利益	3,500	178	3,300程度	1,866.3
(内訳)期ずれ差損益	2,000	▲1,824	3,800程度	-
期ずれ除き当期利益	1,500	2,003	▲500程度	▲25.1

【主要諸元】

	今回予想	(うち10月以降)	前回 (2023/1Q) 予想	【参考】2022年度実績
原油価格(JCC) (\$/b)	90程度	96程度	79程度	102.7
為替レート (円/\$)	144程度	146程度	140程度	135.5

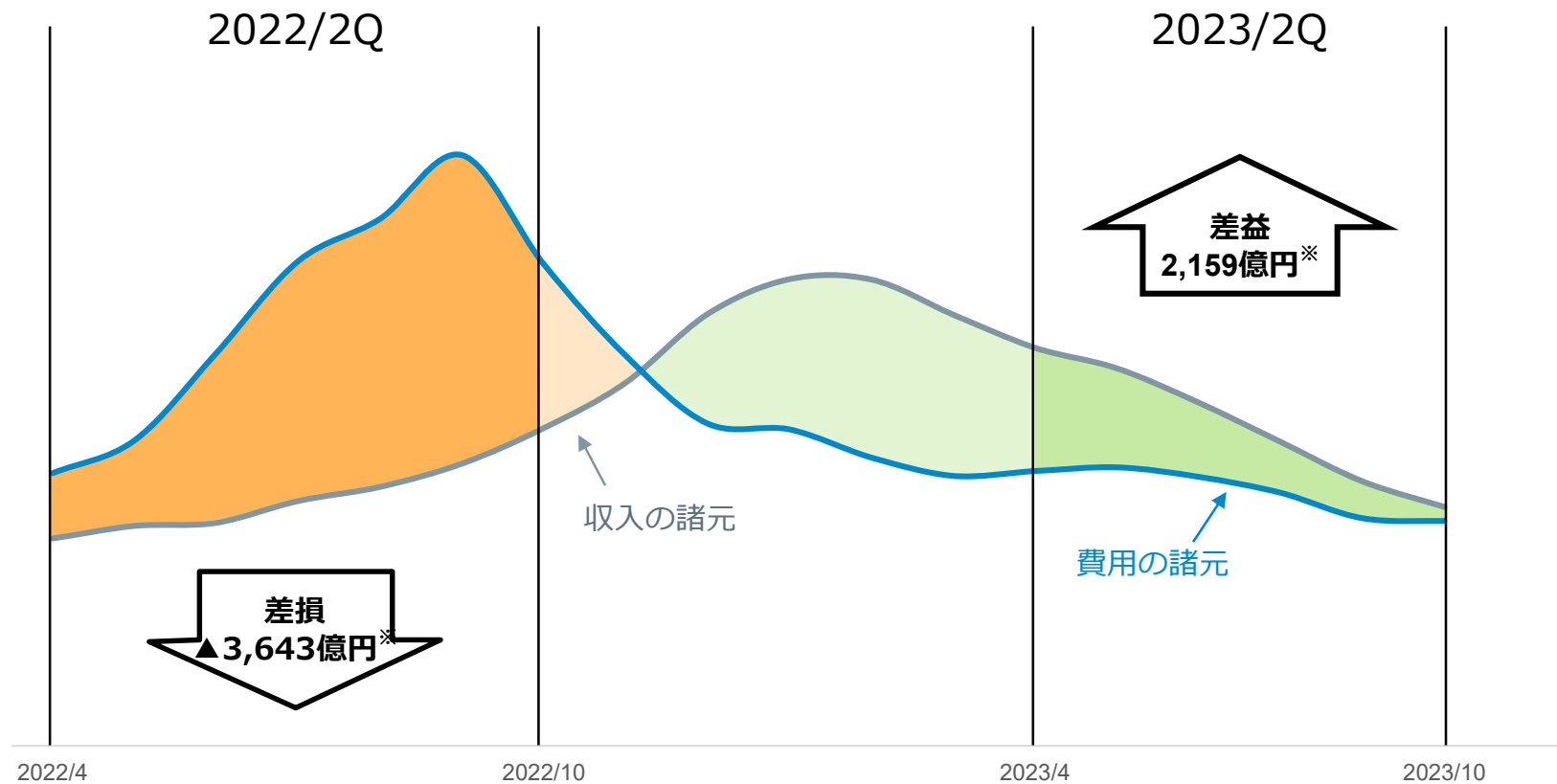
# 参考情報

# 原油価格・為替レート推移



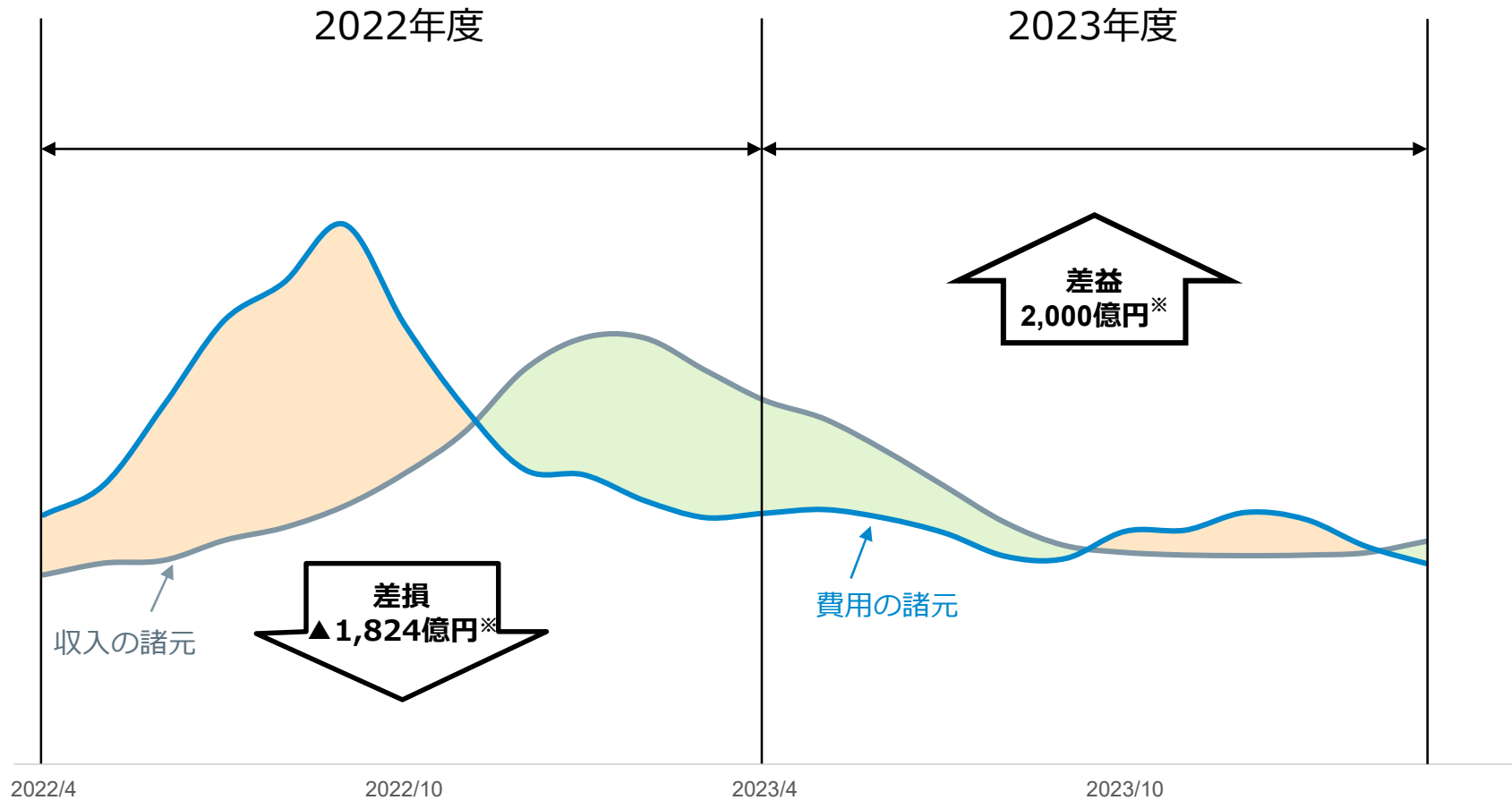
## 期ずれ影響のイメージ（2022/2Q－2023/2Q）

- 燃料価格変動の影響を販売価格に反映する燃料費調整の仕組みにおいて、燃料価格の変動を販売価格に反映するまでの「タイムラグ」があるため、期間で区切った際には収支影響が生じる。
- 中長期的には収支影響はニュートラルとなる。



※金額は税引後

# 期ずれ影響のイメージ（通期見通し）



\*金額は税引後

# 販売電力量・発電電力量の推移

## 【販売電力量（億kWh）】

	4～6月	7～9月	10月～12月	1～3月	合計
2023年度	481	673			1,154
2022年度	579	699	636	637	2,551

## 【発電電力量（億kWh）】

	4～6月	7～9月	10月～12月	1～3月	合計
2023年度	475	662			1,136
LNG	362 (76%)	488 (74%)			850 (74%)
石炭	112 (24%)	172 (26%)			284 (25%)
重油・原油	0 (0%)	1 (0%)			2 (0%)
2022年度	528	635	580	608	2,351
LNG	417 (79%)	470 (74%)	439 (76%)	458 (75%)	1,784 (76%)
石炭	112 (21%)	165 (26%)	140 (24%)	150 (25%)	567 (24%)
重油・原油	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)



# 格付取得状況

## 【発行体格付けの推移】

